

特集1 | 新知事に聞く!



内堀新知事に、県政への思いを聞きました。

うち ぼり ま さ お 内堀 雅雄 福島県知事



— 新知事としての決意は

福島復興・再生に向けて、県民の皆さんから受けたさまざまな思い、願いをしっかりと形にし、ご期待に応えていかななくてはならないと決意しています。

— 決意を一言で表すと?

「進取果敢」。自ら進んで新しいことにチャレンジし、結果を出していく、この思いが復興には不可欠です。

— 県政運営の柱を挙げてください

県内全基廃炉はもちろん、「原子力に依存しない社会」を目指す福島

ふくしまから “チャレンジ” はじめよう! ふくしまからはじめよう。

進取果敢
チャレンジ はじめよう!



からのメッセージを全国、世界へ発信していきます。皆さんの声を聞きながら、「現場主義」で、スピード感を持って県政に取り組んでいきます。ロボットや廃炉技術などの新しい産業を創出し、避難地域の復興から県全体の元気につなげていきたいと考えます。私自身トップセールスをあらゆる場面で「新生福島ブランド」として復権させるだけでなく、新しい福島を創っていきます。

— 何を重点的に取り組んでいきますか

原子力災害からの復興・再生、これが一番大切な仕事です。その中でも、避難区域、避難者の皆さんへの対応をまず、重点的に行います。避難者の皆さんに寄り添ってきめ細かに対応していくことが重要だと思います。さらに、風評の払拭、産業の再生、県民の皆さんの健康への対応、こう

いった総合的な施策を一つ一つ着実に進めていきます。

— 将来に向けて、どのような福島を創っていかうと考えていますか

安心して自分らしく生き生きと暮らせる福島を実現するのはもちろん、県民一人一人が、より豊かな暮らしに向かってチャレンジできるようなしたいと考えます。魅力と誇りにあふれる、住んでよかった、来てよかったと思える豊かな県づくりを目指します。

— 県民の皆さんへのメッセージを

皆さんの思いを受け止め、どんな課題にも体当たりで取り組み、結果を出していきたいと思えます。皆さんが希望を持てる福島を創るため、共にチャレンジしてまいりましょう。

プロフィール

内堀 雅雄 福島県知事

昭和39年3月26日生まれ(50歳)。長野県出身。東京大学経済学部卒業。平成13年福島県生活環境部次長。生活環境部長、企画調整部長を経て平成18年12月から平成26年9月まで副知事。

- ◇ 趣味/スポーツ観戦、音楽鑑賞
- ◇ 特技/合気道三段
- ◇ 好きな言葉/進取果敢

ふくしま百景

霧幻峡の霧氷

山も、木も、川さえも凍る季節。すべての風景が白一色に染まる頃に、霧氷は現れます。霧氷にはいくつかの厳しい条件があり、いつでも見られるわけではありません。今、この時にしか出会えない特別な景色を見に行ってみませんか？

行って
みよう！



霧幻峡の霧氷

金山町三更地区の絶景ポイント。美しい峡谷に深い霧が立ちこめることからこの名が付けられた。霧氷が発生しやすいのは、前夜に雪が降り、よく晴れた気温の低い朝。早朝の時間帯が最も美しく、霧氷はもちろん、只見川の絶景が楽しめる。

見頃

1月上旬～2月下旬

交通

●車／会津坂下ICから車で約30分
鉄道／JR只見線早戸駅から車で約5分

圃霧幻峡プロジェクト(担当/星)
☎080(1168)3959